

2015年 秋号

# 第91号

僧伽編集委員会

〒921-8031  
金沢市野町2丁目32-4  
徳法寺内  
TEL (076) 241-5219  
題字 本多 千翠

# 僧 伽



高嶋脩二「Gaia ラプソディー 水竜巻」

「政治的な方針は、……目標によって決して判断すべきではなく、その実現のために使用される手段によってだけ判断しなくてはならない」  
『部分と全体』ハイゼンベルグ

ハイゼンベルグ……アインシュタインと並び称されるドイツの物理学者。量子力学の確立に貢献した。この言葉は、当時台頭した。めたナチスを批判したと考えられる。

今年、私たちは、戦後七十年という節目を迎えた。この夏、新聞やテレビを中心に、先の戦争を見直す特集記事や番組が数多く組まれた。その中で特に関心を引いたのは、「戦争

## 戦争神経症

常徳寺 西山 彰

神経症」の新聞記事だった。戦場から帰った兵士に、しばしば表れる心的外傷後ストレス障害(P TSD)のことである。

実は、日本では、あまりこの問題にスポットが当たることにはなかった。というのは、精神力を強調する日本軍において、この病気のことは戦後もタブーとされてきたからである。

精神科医の目黒克己氏(のちに厚生省生活衛生局長、八十二才)の調査によると、戦場でのトラウマに苦しみ、入院を余儀なくされた元日本兵は、少なく見積もっても、二千人は超えるという。そして多くの人が、生涯その症状に悩まされることになったが、その状態はいまだ明らかではない。

先日「アメリカン・スナイパー」(二〇一四年、アメリカ映画)という映画を観た。アメリカ軍の凄腕の狙撃手の自伝映画である。彼は、人よりも少し愛国心が強いだけの平凡な青年にすぎなかった。しかし、イラク戦争において、米

軍史上最高の百六十人のアルカイダを狙撃し、国民的英雄となった。彼にすれば、野蛮な敵から仲間を護りたかっただけなのだ。しかし、何度も従軍し任務を遂行するうちに、だんだん精神を病んでくる。そしてついに、同じ症状を患う仲間の手によって、銃殺されてしまうのだ。

人の命を奪う行為は、奪われた人間はもちろんのこと、奪った人間の心までも深く傷つける。やがてその傷は、ゆつくりと時間をかけ、人間を内側から蝕み、破壊していくのである。

自民党の某若手議員が、「戦争に行きたくないというのは、利己主義だ」という趣旨の発言をして批判された。今のところ、彼の意見に賛同する人は少ないかもしれない。しかし、こんな意見まで飛び出してしまう今の時代の空気を、私は恐れる。

戦争とは、それに巻き込まれた国のすべての人々にとって悲劇であることを、今一度考えたい。

## 上杉 悠 巖



## 3・11

この日、多くの人生に終止符が打たれ、数えきれない人々の生活に容赦のない変化がもたらされました。

これまで東北の地を踏んだことのなかった多くの老若男女が、手弁当でその地へ向い、ここで数多くの出会いが生まれました。私もその中の一人です。

初めて訪れた時、私は直ぐには現実を実感することができませんでした。まず、高速道路を下りた私の目の前に広がっていたのは、何の変哲もない仙台の景色でした。途中、高速道路のパーキングで見かけた警察車両

や自衛隊の車両の方が、私に不安を与えたくらいでした。最初に、被災家庭から出たたくさんの思い出の数々を公園に積み上げるお手伝いをしました。この時でさえ、車で乗り付け淡々と作業をしている人々を見ても、今一つその思いが消えることはありませんでした。

ですが、市街地から車でそう遠くない海寄りの平野部を訪ねると、様相は一変していました。そこには、ただただ見渡す限り瓦礫が覆い尽くすだけの、色のない世界が広がっていたので

す。映像や写真では語りつくせない無機質な大地を前にして、ちっぽけな自分はいちすくむ以外に何もできませんでした。数キロ離れた街では、普通に買い物をして、食事をしている人々がいるのです。そのギャップをどう受け止めて良いのかわかりませんでした。一日二日と経つうちに、この様な日常に救われていることに気づいたので。

街を歩いている多くの人も被災者なのです。親類や友人と連絡が取れない不安があっても、生き残った者がやらなければならぬことが目の前にあるのです。その思いがあるから、過酷な現実を前にしても生きていけるのです。様々な場所でお話を伺わせていただいた人たちの表情には笑顔が浮かんでいましたが、何を食べても味がなく、眠れぬ日々を送っている人ばかりなのでした。

金沢に戻った私は、宇宙志縁隊の発足に参加し、現

在はNPOかなざわ志縁隊として二か月に一度、東北へ足を運ばせていただいています。瓦礫の撤去や家屋の解体といった力作業は終わり、今は仮設住宅を中心に整体・健康相談・包丁研ぎ・お話をしながら、震災当時のことや現在のこと、そして、近い将来の話などを聞かせていただいています。そこで気づかされたのは、ボランティア活動は、いつ自分の身に起こるかもしれない災害に備えておくための勉強の場でもあるということです。

まだ被災地へ行ったことのない方、行ったことはあるけれどまた行ってみたいという方々を募集しています。「現地へ行っても、何をすればよいのかわからない」「何もできない私が行っても意味がない」という言葉をよく耳にしますが、そんなことはありません。現地の方たちは、逢いに来たくるだけで嬉しいのです。現在、津波に襲われた地

域の多くは、まだ雑草に覆い尽くされています。その場所が、新しく生まれ変わってく姿を見守っていくことくらいしかできませんが、その日が来るまで一緒に歩んでいきましょう。お電話・メールをお待ちしています。

プロフィール

うえずぎゆうげん

上杉 悠 巖

北海道生まれ東京育ち。なぜか、現在金沢在住

整体・操身を生業としながら、心地好い体のためのワークショップとボランティア活動をライフワークとし、「楽な身体」とは何か思考に明け暮れる日々を過ごす。

整体院ほぐしどころ上杉・操身ワークショップ 放下庵 庵主

NPOかなざわ志縁隊代表

電話〇九〇一八七三六二八七三  
ホームページ

<http://kanazawashien.com/>

# 和讃に学ぶ

## 第四十八回

徳法寺 杉谷 浄

### 仏教と社会

とめるものゝ

うたえは

いしをみづに

いるゝがごとくなり

ともしきものゝ

あらしひは

みづをいしに

いるゝにたりけり

この和讃は聖徳太子を讃嘆して書かれた『皇太子聖徳奉讃』の最後に置かれており、次のような意味です。

豊かな者の訴えは、石を水に入れるようなものです。貧しい者の争いは、水を石に入れることに似ています

謎かけのようなこの歌は聖徳太子の次の文を元としています。

すなわち財有るものが訟は、石をもて水に投ぐるが如し。乏しき者の訴は、水をもて石に投ぐるに似たり。是をもつて貧しき民は、所由を知らず。

意味は以下の通りです。

豊かな者の意見はまるで水に石を投げ入れた時のように大きな波紋を生んで皆の間に広がっていきますが、貧しい者の訴えは石に水をかけた時のようにすぐに消え去ってしまいます。ですから、貧しい者は何を頼って良いのか分からないのです。

この和讃の前には、次の二首が置かれています

憲章の第二にのたまはく三寶にあつく恭敬せよ

四生のついのよりどころ  
萬國たすけの棟梁なり

いづれのよ

いづれのひとか

婦せざらむ

三寶よりまつらざば

いかでか

このよのひとびとの

まがれることを

たゞさまし

「憲章の第二」とは、聖徳太子の作と伝えられている「十七条憲法」の第二条のことです。

二つに曰く、篤く三寶を敬え。三寶とは仏・法・僧なり。すなわち四生の終わりのよりどころ、萬の國の極めの宗なり。何の世、何の人か、この法を貴びずあらん。人、はなはだ悪しきものすくなし。よく教しうるときは従う。其れ三寶に帰りまつらざば、何をもつてかまがれるを直さん。

この第二条の意味は次のようになります。

すべての衆生、すべての國にとって、仏教は究極のおしえであるから、いつの時代であつても、すべての人にとって貴ばれるべきものである。極悪人と言える者は僅かしかないものであるから、仏教をよく教え聞かせれば、皆この教えに従う。もし仏教に依らなければ、どうして間違いを正すことが出来ようか。

親鸞聖人の二首の和讃はこの第二条の引用です。もし、仏教が第二条のように世の中で貴ばれていたならば、世の中の人々は間違いを正されている筈なのです。ところが現実には権力を持ったものの声だけが通り、力なきものの訴えは無視されているのです。ここで、聖徳太子が「訴」といつているのを親鸞聖人が「あらしひ」と言い換えているの

は、貧しい者は訴えることさえ出来ない状況になつていくということかもしれません。

親鸞聖人が具体的にどのような問題に対してこの和讃を詠んだのかはわかりません。ただ、この様な社会の不平等を、聖徳太子の言葉を受けて、仏教によって解決できると親鸞聖人が思つていらつしやつたことは窺い知ることが出来ます。

### 杉谷浄のラジオ案内

#### ラジオ案内

十月六日(火)

十一月三日(火)

十二月一日(火)

F M N I (七十六・三MHz)で午後一時半から一時間放送します。

番組名は「生活一番シャトル便 住職のよもやま話」です。再放送は放送日の週の土曜朝六時からです。インターネットでも聞けます。

# 真宗人物伝 第三十八回

徳法寺 杉谷 浄

## 信願

今回は親鸞聖人の弟子で、関東二十四輩の第十三番である信願です。

信願については大きく三つの人物像が伝わっています。

一つは、栃木県那須郡那珂川町健武にある本願寺派の栗野山無量光院慈願寺に伝わる『栗野山慈願寺略縁起』によるものです。

これによると、北関東に勢力を持つていた佐竹氏の流れを汲み、稲木城主であった稲木義清が稲田の草庵に参詣した時に、聖人の弟子となつて「信願房定信」という法名を賜つたとあります。その後親鸞聖人の曾孫の覚如上人が来られた時に「慈願寺」の寺号を賜つたといいいます。

もう一つは、大谷派の鹿崎山信寿院慈願寺に伝わる話です。源平の合戦で知られる那須与一の五代後の子孫である那須資村が稲田の草庵で親鸞聖人に帰依して「信願房法心」という法名を賜つたとあります。親鸞聖人が京都に帰られて十年の後、信願は高齡になられた聖人の側に仕えようと京へ上ります。ここで信願は親鸞聖人から河内国の教化を託され、河内国渋川郡久宝寺村に道場を建てます。これが今の八尾慈願寺であるといひます。この後、関東で様々な問題が起こり、聖人は側近の性信を関東に向かわせませんが、これに信願も同行します。故郷に帰つた信願は栗野鹿崎に

慈願寺を建立します。信願が七八歳でこの地にて最期を迎えた後、延宝八年(二六八〇年)、現在地である栃木県那須郡烏山に移転したというものです。

最期の一つは、『大谷遺跡録』にある記述です。ここの信願は、里見氏の祖とされる新田太郎義俊の子で、常陸国那珂郡烏喰村に居住していた藤井八郎信親とあります。親鸞聖人の弟子となつた後、那須郡栗野鹿崎に寺院を建てたとあります。また、親鸞聖人が京都に帰る時に同行したのですが、途中立ち寄つた相模国の人々がなごりを惜しんだため、聖人の意を受けた信願は相模国鎌倉に寺院を建立したといひます。この寺が稲荷山浄妙寺で、後に三河国赤洪に移りました。

実はこれ以外にも諸説あるのですが、いずれの説でも当時としてはかなり名の通つた人物の流れを汲んでいることになつて

います。これらの真偽を検証することは簡単ではありません。

たとえば、那須与一といへば『平家物語』のような軍記物語で屋島の戦いで、平氏の船に掲げられた扇の的を射落としたことで知られていますが、歴史資料には登場しない伝説上の人物です。これはいなかつたということではなく、いたという証拠が無いということなのです。

滋賀県では那須与一が法然上人の弟子となり、秀誉正雲と法名を賜つたと伝えられています。その那須与一に七男がおり、それぞれが寺を建て弘誓寺と称したといひます。現在も滋賀県には、この七つの弘誓寺があります。この一つである大谷派の弘誓寺は、

那須与一の長男である愚咄坊を寺の開基としていひます。この愚咄坊は親鸞聖人の曾孫である覚如上人の教化を受けて本願寺門下に入ったとされていひます。親鸞聖人と那須与一はほぼ同世代ですから、親鸞聖人の曾孫から那須与一の長男が教えを受けるといひるのは少し無理があります。さらに、先の慈願寺では那須与一の五代後の子孫が親鸞聖人の弟子となつていきますからかなり無理があります。

全国に弘法大師の伝説が残っていることとも共通しますが、真偽はともかく、これらの伝承からは多くの僧侶達が全国で仏教を広めるために、当時の人々が受け入れやすい方便を駆使していたことがうかがわれます。嘘と言え



## 映画の紹介

『グレース・オブ・モナコ  
公妃の切り札』

「グレース・オブ・モナコ」より

モナコ公国は、地中海に面し、国土をフランスに囲まれた小国である。面積二・〇二平方キロメートルは、日本の皇居の約二倍。バチカンに次いで世界第二の小国である。

銀幕の大スター、グレイス・ケリーが、このモナコの王室に嫁いだときには、世間はあつと驚いたことだらう。

さてこの映画は、そんなグレイス妃が、危機に見舞われたモナコを救うという話である。

一九六二年、フランスのド・ゴール大統領は、このモナコに不当な要求を突き付ける。それは、モナコ国内にあるフランス企業から税金を徴収し、フランスに支払えというものだった。当時のフランスは、長引

くアルジェリア戦争のため、財政が逼迫していたのだ。当然のことながら、国王レーニエ三世はその要求を拒否する。すると、ド・ゴールは、「要求を断るなら、モナコをフランス領として併合する」と声明を発表したのである。

そんな時、グレイスに女優復帰の話が持ち込まれる。それもヒッチ・コックから直々の新作映画『マーニー』への出演依頼である。彼女の心は揺らいだ。

しかし国が危機に見舞われている状況を考えて、彼女は、出演依頼の件は伏せておくことにした。ところが、どこからか情報が洩れて、公になってしまったのである。当然のことながら、国民の非難が彼女に集中する。こんな時に国を棄ててアメリカに帰るのかと。ようやく、彼女は自分を陥れようとする影の力が働いていることに気が付き始める。

というのは、フランス政

府からすれば、アメリカ出身の有名なグレイスは邪魔な存在である。下手をすればアメリカから内政干渉される可能性があるからだ。

フランス軍が着々と軍隊を動かし、国境を封鎖する中、彼女はついに宮廷内にいる内通者突き止める。驚くべきことに、彼らはモナコをフランスに売ることを画策していたのだ。

そこから彼女の、国の存亡をかけた、一世一代の大芝居が始まる……。

映画の冒頭に、「実話を基にしたフィクションである」というテロップが流れる。確かに、実話にしてはやや話ができすぎているようにも思う。しかし、フランスは現実に軍を引いたのだから、何らかの形でそのようなことがあったのだろう。とするなら、軍隊を持たない小国モナコが、機転の利いた外交で、大国フランスを退けたことは間違いないのだろう。

映画の中で、グレイス公

妃は、各国の首脳を前に次のように演説する。

「子供じみていますが、私はおとき話を信じます。心から望めば実現するはずで。どんな努力も惜しまない覚悟があれば、世界は変えられると信じています。憎悪や衝突も消えるに違いありません。」

実は、グレイスはモナコに嫁いだものの、夫レーニエとはすれ違いが多く、離婚の危機を迎えていた。しかしここで演説する彼女は、妻としても母としても王妃としても成熟した姿を見せている。家庭の問題と国際問題の解決を、一人の女性の成長を通して描いているところが、この映画の面白さであろう。

さて、武力を用いないでも国際紛争を解決できるといふのは、ある意味で「おとき話」なのかもしれない。しかしその実現を信じるか信じないか、願うか願わないかは、実は大きな分岐点であるように思った。

ちなみに、彼女は映画界に復帰することはなかった。「マーニー」は、ティップ・ヘドレンという女優の主演映画として知られている。

それにしても、グレイス・ケリー役を演じたニコール・キッドマンは、理屈抜きできれいだった。カルティエやディオールが全面協力したという衣装もなかなかのものだった。

新たな安全保障関連法案の成立を急ぐ安倍さんにも、ぜひ見てほしい映画だ。この映画は、今からちょうど一年前、二〇一四年五月に、カンヌ国際映画祭でオープニング作品として上映された。フランス、アメリカ、ベルギー、イタリアの合作であることも、意味深だ。

## 仏教豆知識

### やたら (矢鱈)

「今年はやたらと暑かったですね」とか「やたらに

酒を飲む」という、この「やたら」の意味をご存知ですか。根拠・節度がないさま。筋が通らないさま。めちやくちや。むやみ。と

いう意味だそうです。意味は時代と共に多少変化してきていますが、元々は仏教と共にインドから伝わってきたとされる言葉です。

この「矢鱈」という漢字は明治時代に夏目漱石によつて作られた当て字で本来は「八多羅」(もしくは「八多良」「夜多羅」と書きます。これは雅楽の「八多羅拍子」から来ています。もつとも、この「八多羅」も当て字で、古代インド語のサンスクリット語である「ヤ・ターラ」の音写です。「ターラ」はリズムのことで「ヤ・ターラ」で早いリズムという意味になります。

「八多羅拍子」とは二拍と三拍のリズムが交替反復する五拍子で、大坂の四天王寺によつて伝承されてきました。拍子が早い上にリズムムがとりにくいために、今

のような意味に使われるようになったようです。

雅楽と言うと、神事をイメージする方も多いとは思いますが、かつて葬儀の出棺の際に雅楽が流されたように、仏教にも深い縁があります。元々はインドや中国・ベトナムなどから伝わった音楽や舞に、古代

日本のものが融合したもので、平安時代の頃には京都の公家や有力寺院などで広く用いられていたようです。ところが応仁の乱で京都の雅楽師たちはほぼ途絶え、奈良や大阪の寺院に残るだけとなりました。

江戸時代に徳川幕府によつて復興が試みられ、楽曲も千曲を越えたとも言われます。ところが明治時代になると、宮内庁雅楽部によつて演奏できる曲が限定され、今は百曲ほどが

伝えられています。この時、仏教系の曲はほとんど姿を消してしまいました。また、演奏速度も優雅さを強調するためか遅くなり、三

倍近くも長くなっているようです。今、インターネットで「八多羅拍子」を聴くことが出来ますが、決して速いとは思えません。

今、途絶えてしまった曲を復活させる動きもある中、雅楽器を作ることが出来る職人は数人しか残っていません。金沢の僧侶にも雅楽を演奏する人たちが少なからずいますが、全国的にみれば後継者は多くはいえません。その多くは趣味の域を出ない人が多く、技量の高い人は限られています。

「やたら」という言葉は残つても、そのルーツは風前の灯かもしれませぬ。

ちなみに、雅楽に由来する言葉は以外に多く、打ち合わせ、野暮、様になる、上手い、二の舞を舞う、呂律(ろれつ)などもそうです。

(浄)



## 各寺のご案内

### ◆常徳寺

金沢市寺町

五丁目一番二九号

☎二四一―二六四九

### ◎報恩講

十月十日(土)

お逮夜 午前十時

お日中 午後一時半

法話 佐々木 五六師

### ◆徳法寺

金沢市野町

二丁目三二―四

☎二四一―五二一九

### ◎お講(石坂同信会主催)

毎月二十一日

午後七時半より

講師 十月 桐山 信英

十一月 杉谷 浄

十二月、一月、二月はお

休みします。

ご自由にご参加ください。

### 編集委員

西山 彰(常徳寺)

杉谷 浄(徳法寺)